



# たまた敏幸県議会レポート

発行/自由民主党千葉県議会議員会 〒260-0855 千葉市中央区市場町2番13号 電話 043 (227) 7411

## 印西市民の声を生かして県政改革

### ■印西市特集■ 2月県議会予算委員会

「印西と北総地域が良くなれば、印旛もよくなる。印旛が良くなれば千葉県、日本もよくなる」という「地域活性化の連立方程式」を掲げて活動する瀧田敏幸(たまたとしゆき)県議は、市民の声を生かした県政改革を進めています。

真面目な政治姿勢は人望を集めているうえ、県民のための「識見ある政策力」で施策提案、「論理的な発言力」で議会質疑、「積極的な行動力」で現地視察や国への要望などから地域課題の解決に活躍しています。



2月県議会予算委員会で質疑を行う瀧田敏幸県議(3月14日)

たまた敏幸・公式HP

ブログ・毎日更新中!  
<http://www.takinowa.com>

瀧田敏幸

検索

### たまた敏幸・PROFILE

#### □略歴□

- 昭和35年2月 印西町(現印西市)大森生まれ  
大森小、印西中、我孫子高校卒業
- 昭和57年3月 同志社大学卒業
- 昭和61年5月 滝田洋品店取締役
- 平成11年4月 印西市議初当選(2期)
- 平成19年4月 県議初当選

#### □現職□

- 県議会 商工労働企業常任委員会委員
- 千葉県 環境審議会委員
- 自民党県連 広報委員会(青年局)
- 印西市消防団副団長
- 印西市商工会理事
- 印西市観光協会理事
- 千葉県ラグビー協会理事
- 自民党印西支部幹事長

# 「公平な受益者負担が原則」

若い1期議員ながら6月、12月県議会ですでに2回の一般質問を行う意欲的な姿勢を見せたのに続き、2月県議会では2008年度の新年度予算を審議する重要な予算委員会でも質疑に立ち、「北総鉄道の運賃問題」を取り上げ、「公平な受益者負担が原則」という立場に立った上で「他の鉄道運賃と同程度の水準まで引き下げてほしい」と強く訴えました。また、北総鉄道は県が株主であり、高運賃は正の鍵となる京成電鉄の線路使用料の条件などについても追及しました。

### 瀧田県議の3大政策

1. 成田新高速鉄道開業に伴う北総鉄道の高運賃是正
2. 印西市の総合病院誘致。千葉県の印西市への病床数配分の確保
3. JR木下・小林駅橋上化と成田線の利便性向上

# 北総鉄道の高運賃是正を強く訴え

千葉県・印西市についてのご意見、ご要望をお聞かせください。

たまた敏幸 TEL.0476(37)4173

〒270-1326 印西市木下1521-125 2F

■印西市特集■ 2月県議会予算委員会



2月県議会予算委員会で質疑をする瀧田県議

# 線路敷設の公平負担で北総鉄道を安く

**瀧田** 県と6市2村の「北総鉄道利用促進協議会」の勉強会でしっかりと論点を整理して、枠組みに国土交通省、京成電鉄、北総鉄道の事業者、関係者も加え、より話し合いを活性化していったらいい。

北総鉄道が膨大な債務を抱えているという認識でよいかどうか。

**交通計画課長** 北総鉄道は鉄道運輸機構に約900億円、東葉高速鉄道は約300億円、膨大な債務を抱えています。

**瀧田** 北総鉄道の場合、2010年成田新高速鉄道開業に伴い、問題となっているのは線路敷設の公平負担の問題が、この本質であろうと考えています。

北総鉄道が京成電鉄100%子会社の千葉ニュータウン鉄道に支払っている線路使用料が、運賃相当額と近づいているということが最近表にでてきました。北総鉄道は、この区間ではまったく利益を上げることができない状況となっているということが一目瞭然となっています。

**大株主である千葉県は、現在妥当と考えているのかどうか。**

**交通計画課長** 線路使用料は、千葉ニュータウン鉄道に北総鉄道から21億円支払っていますが、管理費用10億円程度を北総鉄道に支払っているところでは、瀧田 必要な対価10億円の支払いは当たり前のこと。残りの11億円の話になるわけで、鉄道運行事業と施設の維持管理はこの枠組みでは、別の事業であるわけでは

を指摘しているわけです。**瀧田** 成田新高速鉄道の運行に伴う線路使用料の問題について議論を行います。千葉県の報告書でも、成田新高速鉄道を運行する京成電鉄が、北総電鉄に支払う線路使用料は、維持管理費のみとなっている。これは、小室と東京高砂の間、新しい運行者が北総鉄道には維持管理費のみしか払わない。このままだと北総鉄道は線路使用料を京成100%の子会社には、目一杯支払う一方で、京成電鉄からは経費しか頂戴できないという、極めて不自然な状態が生まれる懸念があります。

北総鉄道は、北総線の線路敷設を受けて未だに1200億円以上の負債を抱えています。今、鉄道運行事業の方を論点にして議論しているわけです。

北総鉄道が第2種事業者として船橋の小室駅から印旛日医大の区間の鉄道運行を行っているにもかかわらず、同区間の鉄道運行事業からは1円の利益も上げることができないのは、不自然な状況ではないか。利益を上げられないというこの結果というものは、結果として北総鉄道を利用する県民、沿線6市2村の利益につながってしまうこと

て債務超過の状態にあるにもかかわらず、同じ線路上を走る成田新高速鉄道は、線路敷設費用を一切負担しないのは、極めて不自然だと考えるわけです。まさに、事業者における線路敷設費用の公平な負担と利用者の公平な受益者負担原則、これは資本主義社会ですから当たり前のことをいっているつもりです。私は運賃が高いから安くしてくれとか、住民運動に乗っかるつもりはありません。あくまでも受益者負担の原則の部分をきちっと切り取って、皆さんに説明しないとこれは、沿線の住民、県民は納得しないような状況にまでできているので、これはよろしくお願ひしたいと思います。

## 暫定税率廃止

## 圏央道、北千葉道路に影響

**瀧田** 揮発油税暫定税率廃止または道路特定財源が一般財源化された場合、県民から要望の多い道路関係予算に深刻な影響が出ると思うがどうか。具体的な数字で説明いただきたい。

**道路計画課長** 平成20年度当初予算に係る道路特定財源について、当初予算額は470億7200万円、このうち暫定税率分は、軽油引取税、自動車取得税、地方道路譲与税を合わせ、218億1500万円、約46.3パーセントを占めています。瀧田 成田空港の交通アクセスにとって、死活的に重要なインフラである圏央道、北千葉道路への影響をどう考えるか。

**道路計画課長** 暫定税率が

## 「北総鉄道運賃問題」 瀧田県議ら国土交通省へ要望



瀧田議員ら自民党4県議が、北総鉄道の運賃問題で国(国土交通省鉄道局)に要望した(3月19日)

廃止された場合、千葉県区間の圏央道の開通時期は、木更津・茂原間で平成21年度から平成26年度に、茂原・東金間で平成22年度から平成30年度になるなど、目標より大幅に遅れることが想定されます。

また、北千葉道路の開通時期は、平成20年代半ばから平成40年代半ばになり、目標より大幅に遅れることが想定されます。

このため、成田空港へのアクセスが不十分となり、国際競争力が著しく低下すると考えられます。

# 県政から築く

# 印西市の元気な明日

# たきた敏幸県議

## 2月県議会自民党代表質問

**財源不足の当初予算を追及**

2月定例県議会で最大会派自民党の代表質問に岡村泰明県議(四街道市選出・4期目II)が登壇しました。

岡村県議は、財政問題、私学助成、医療の充実などを中心に質問し、うち、乳幼児医療では、自民党が要望を続けてきた就学前までの通院助成は実現しましたが、なおの充実を求めました。

予算案については、「3年連続で多額の財源不足が続く当初予算は異常な事態」として知事を追及し、真の県民本位の予算のために、今後も厳しく監視を続けるつもりです。また、知事の政治姿勢では、空港戦略、道路特定財源をめぐる見解、知事のマネジメントについて質問しました。